

鳥取方式®との出会い(前編)

Club Green 理事長 丸岡 樹善

2008年12月2日

私にとって衝撃的な一報が入りました…

「これならできますよ！実現出来ますよ！芝生化！」

古館伊知郎の報道ステーションを見ていた当時の副委員長(現;CG副理事長)からの一報でした。

当時、私は敦賀青年会議所の一員で、子育て委員会委員長として次年度(2009年)の事業を模索していました。

もともと、ニールさんの母国であるニュージーランドでの生活経験がある私にとって、NZでは当たり前の芝生の光景が目には焼き付いていました。「日本もこんな風になればいいのになあ」なんて漠然と思っていた 20 代。その後、縁あって敦賀青年会議所メンバーに加入させて頂き「まちづくり」や「人づくり」の事業に携わっていました。

子育て委員会委員長を次年度に控え、準備をする中、昔のNZの思い出がよみがえり「校庭の芝生化」をしたいんだけど…とメンバーに打ち明けました。早速見積もりを始めるも当時の知っている一般的な張芝工法では、とてもとても高すぎて私たちができるような事業ではありませんでした。



鳥取方式®の広まり(中編)

グリーンスポーツ鳥取 代表 ニール・スミス

雑談になりますが週一で芝刈りが出来ると芝生がいつもとてもきれいな状態で気持ちよく遊べます。但し、必ずしもそう上手く行かないものです。この夏のようになかなか芝刈りができなくて、芝生がかなり伸びている或いはよく濡れていることが多かったと思います。その状態では子供達や他の利用者がどのように対応すべきかと戸惑っている人も少なくないでしょう。濡れている時は乾くまで遊べないのではとか伸びている時は芝刈りが出来るまで遊べないのではと様々なことを考えてしまう。

芝生で育った人はこの時どうするでしょう。

答えは至って簡単です。普段通り遊びます。芝生の状態を一切考えないです。当然、遊びの内容が変わりますがそれは何の問題にもなりません。理由も至って簡単です。小さい時から年中芝生の上で遊んでいるからです。このように意識がある前からごく当たり前に芝生と接しています。

残念ながら夢諦め、他の事業の模索を始めようとしたころの嬉しい一報でした。

「鳥取方式による芝生化」…衝撃的でした。こんなことできるんだと、こんな方法があるんだと…見逃した報道ステーションをパソコンで何度も見ました。もう、いてもたってもいられない私は、数日後、米子で行われた芝生見学会に一人向かっていました。「あの、ニールさんに直接あつて話したい！」そんな思いで車を走らせていたことを思い出します。

その後は、ニールさんはじめグリーンスポーツ鳥取様のご指導の下、2009 年、敦賀市との共同事業により北陸敦賀に「鳥取方式」による芝生の園庭が完成し、この活動にどっぷりと浸かることになる第一歩がスタートしたわけです。後日訪れた、聖地「グリーンフィールド」に立った時の感動は今でも忘れません。



芝生化初年度ニール氏を招いての講演会



クラブ員と試験的に小学校一部芝生化

この子は「芝生が濡れているから遊びづらい」何て思っていない。暑い日は裸(もう少ししたら上半身裸、或いは裸足)になって遊ぶ、ただそれだけです。



僕自身が通っていた小学校の校庭で相当長く伸びている状態での競争ですが走っている子供も見守っている親御さんも全く気になっている様子はありません。子供は一生懸命に走ってるし親御さんも自分たちもこれを経験しながら育ったからです。

つまり、こういうことです。芝生のことを深く考える必要はありません。園庭、校庭、公園の一部です。あつて当たり前です。様々な状態も当たり前です。どの状態でも遊べるのです。

この気持になれたら一人前の芝生人です。自然体で行きましょう。



鳥取方式®の芝生 維持管理カレンダー

ティフトンの芝生(冬シバを9月下旬にオーバーシーディングした場合)

	9 月		10 月		11 月		12 月	
	芝刈り	施肥*	芝刈り	施肥*	芝刈り	施肥*	芝刈り	施肥*
第1週	1回(40mm)	1回 (30 kg)		1回 (30 kg)		(30 kg)		(20 kg)
第2週	2回(30mm)				1回		1回	
第3週	1回(25mm)		1回(50mm)					
第4週			1回		1回		1回	

※1 施肥は 1,000 m²あたりの標準散布量(14-14-14%化成肥料)

※2 播種量は 1,000 m²あたりの標準散布量。9月第3週に1回(40kg)の播種が必要

～管理のポイント～

【9月下旬(冬シバ播種と播種後の散水)】

WOSのための冬シバとしては、発芽と初期の生育が速く、翌春の夏シバへの移行(トランジション)が容易なインターミディエイトライグラスを推奨します。なお、建物や樹木の日蔭になる面積が大きい場合や利用が激しく冬シバが擦り切れることが予測される場合についての対応はNPOグリーンスポーツ鳥取に問い合わせてください。日最高気温が30℃以下(9月中旬)となり、運動会などの芝生に厳しい行事が終わればできるだけ早期に播種してください。気温が高いほど発芽日数が短く生長も速いので播種後の養生期間(約3週間)を短くすることができます。なお、播種時期が早いほど気温が高く種子が乾燥し易くなるので播種後7日～10日間は1日1回以上(可能ならば1日2回～3回)散水を行ってください。

【10月(冬シバ播種直後の養生と最初の芝刈り)】

冬シバの種子は一粒2mgで非常に小さく、また発芽直後の幼植物は柔らかく、踏圧や擦り切れに弱いので、播種後少なくとも3週間以上は養生期間として利用時間・人数を減らす必要があります。播種後しばらくは芝刈りを行わず、3週間経過して葉が2枚～3枚出たところで、刈り刃をやや高め(地上50mm)に設定して最初の芝刈りを行って下さい。その後の冬シバの刈高は40mmとしてください。養生期間中に、刈り刃の研磨・交換と芝刈り機の点検(代理店に依頼)をしておく、柔らかい冬シバの芝刈りがし易くなります。順調に冬シバを生長させて利用に耐える芝生に育てるために、施肥と散水は十分に行ってください。なお、水分不足や踏圧損傷などによって冬シバの密度が不足した部分には、できるだけ早期(10月末まで)に2回目の播種を行ってください。

【11月～12月(低温期の冬シバの管理)】

気温の低下に伴って冬シバの生長も遅くなるので、芝刈りの間隔はそれに合わせて長くしてよいが、刈り刃の高さは常時一定(地上40mm)として下さい。施肥は真冬(1月、2月)以外は月1回実施し、生育量が小さくなる冬は少なくしてもよい。11月以降の散水は原則として不要ですが、表日本などで降水量が極度に少ない場合は適宜(週1回程度)散水してください。



2009年鳥取久松公園の芝生化(前編)

私と「芝生」との出会いは振り返ると今から5年前になります。当時(社)鳥取青年会議所(鳥取JC)の理事長をしていた私は、その年が創立50周年を迎える記念すべき年であり、創立50周年記念事業として何をしたらいいのか思案していました。紆余曲折ありましたが、鳥取城跡にある鳥取市民であれば誰でも知っている「久松(きゅうしょう)公園」を「芝生」の公園にしようということになりました。

本当にこんなことで「土」の公園が「芝生」の公園になるの?というのが率直な印象でした。芝生化当日、久松公園が「芝生」の公園に生まれかわることを夢見て、黙々とポット苗の植え付けに汗を流す数百人の市民の姿に感動しつつも、まだまだ私は半信半疑でした。

その心配とは裏腹に、みるみるうちに広がるティフトン。3か月後には見事に「芝生」の公園に大変身していました。そんなびっくり体験が「芝生」「鳥取方式」「グリーンスポーツ鳥取」「ニール・スミス氏」との出会いでした。

【当時の様子】



【現在の様子】



普通ならこれで「めでたし、めでたし、さようなら・・・」となりますが、これがすべての始まりにしろとうとは、もちろん誰も想像していませんでした。

(次号に続く)

鳥取青年会議所 OB

鳥取方式®の芝生化全国サポートネットワーク 会長 水野 由久

■ お問い合わせ先 ■

鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク事務局(鳥取県文化観光スポーツ局スポーツ課内)

電話: 0857-26-7919 E-mail: office@tottoristyle-shibafu.org

URL: <http://www.tottoristyle-shibafu.org/network/>

※「鳥取方式®」はNPO法人グリーンスポーツ鳥取の登録商標です